

令和8年度 アオコ情報（北浦 No. 3）

8月27日に実施した調査の結果についてお知らせします。

- フィコシアニン濃度^{※1}の最大値は、巴川沖でアオコレベル3相当^{※2}でした。

北浦のアオコレベル

<北浦>

- ・ 巴川沖でアオコレベル3相当（フィコシアニン濃度：1730 $\mu\text{g/L}$ ）、武田川沖及び山田川沖でアオコレベル2相当（フィコシアニン濃度：246～508 $\mu\text{g/L}$ ）、武井沖でアオコレベル1相当（フィコシアニン濃度：76 $\mu\text{g/L}$ ）、釜谷沖でアオコレベル0相当（フィコシアニン濃度：40 $\mu\text{g/L}$ ）でした。

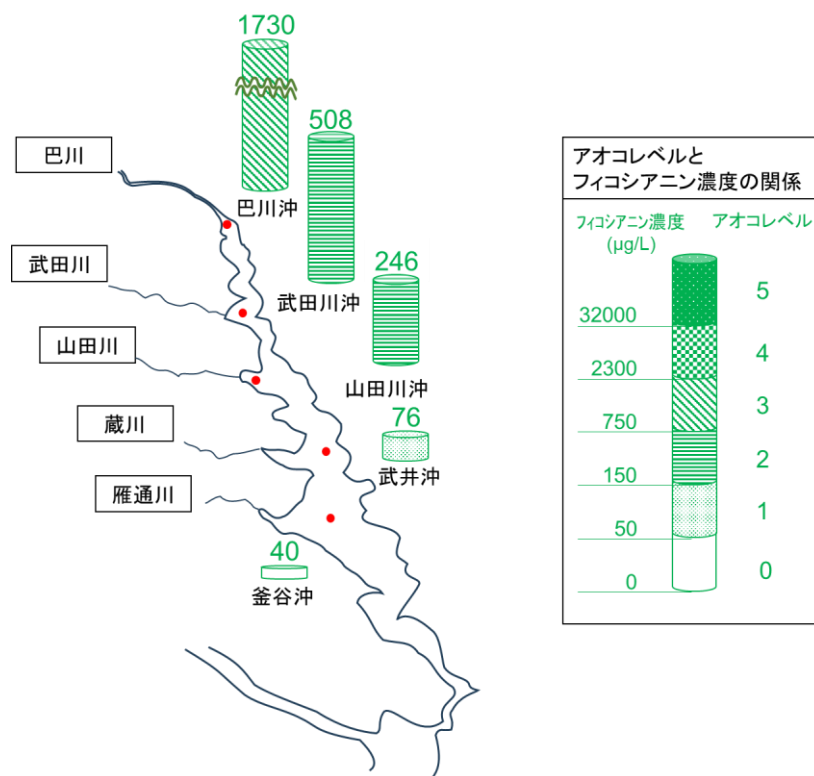


図1 フィコシアニン濃度の分布

※1 フィコシアニン

アオコの原因となる植物プランクトン（藍藻類）に含まれている色素です。フィコシアニン濃度はアオコの現存量と一定の相関があるため、アオコ現存量の目安になると考えられています。

※2 アオコレベル

アオコの発生状況を視覚的に把握するための指標です（参考：国土交通省霞ヶ浦河川事務所 HP：<http://www.ktr.mlit.go.jp/kasumi/kasumi00313.html>）。フィコシアニン濃度は、アオコレベル1で50 $\mu\text{g/L}$ 程度、アオコレベル2で150 $\mu\text{g/L}$ 程度、アオコレベル3で750 $\mu\text{g/L}$ 程度、アオコレベル4で2300 $\mu\text{g/L}$ 程度、アオコレベル5で32000 $\mu\text{g/L}$ 程度です（小日向ら、2012）。各レベルの写真は、別紙に掲載しています。

● 調査結果の詳細

表 調査結果

	北 浦				
	巴川沖	武田川沖	山田川沖	武井沖	釜谷沖
採水時刻	8 月 27 日	8 月 27 日	8 月 27 日	8 月 27 日	8 月 27 日
	10:03	10:18	10:35	10:47	11:05
水温 (°C)	30.0	30.4	30.4	29.7	29.7
pH	9.6	9.7	9.7	9.5	9.3
EC (mS/m)	27.0	29.5	30.6	31.1	32.0
透視度 (cm)	9.0	15.0	26.0	26.0	32.0
フィコシアニン (μg/L)	1730	508	246	76	40
クロロフィル a (μg/L)	738	204	85	40	27

● (参考) アオコレベル

